

公立邑智病院経営強化プラン点検・評価報告書
(令和6年度 実施状況)

令和7年8月

公立邑智病院経営強化プラン評価委員会

はじめに

公立病院の経営強化プランは、令和4年3月29日付け総務省自治財政局長通知で示されており、プランの内容として「持続可能な地域医療提供体制を確保するため、地域の実情を踏まえつつ、必要な経営の取組を記載」とされた。

公立邑智病院経営強化プランは、構成3町と協力して令和5年度に策定し、病院組合議会や関係機関のアドバイスを受け、大田圏域地域保健医療対策会議へ報告している。

プランの期間は、令和6年度から令和9年度の4年間を対象としており、公立邑智病院経営強化プラン評価委員会設置要綱により委員会を招集し、初年度の点検・評価を行ったので、ここに報告する。

基本的な考え方

総務省の示したガイドラインを基に令和5年度に策定した、「公立邑智病院経営強化プラン」に沿って、以下の6項目について点検・評価を行った。

1. 役割・機能の最適化と連携の強化
2. 医師・看護師等の確保と働き方改革
3. 経営形態の見直し
4. 新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組
5. 施設・設備の最適化
6. 経営の効率化

6 項目の点検・評価

1. 役割・機能の最適化と連携の強化について

郡内唯一の救急告示病院、急性期病院の役割を維持することができており、構成 3 町の乳幼児健診は子育て世代に安心感を与え、開業医や慢性期病院との患者紹介数も年間 1,000 件を超えていることは評価できる。

医療の質の評価における数値目標においては、半数しか達成できていないことから目標値の値について再考する必要がある。

2. 医師・看護師等の確保と働き方改革について

職員確保では、採用も多いが離職者も多く離職者にも注目し離職理由を検証することで働き方改革を推進することが重要である。また、人材の確保は長期的な視点が必要であり、年代層の分布や充足率も考慮する必要がある。臨床研修医の受け入れが将来の医師確保にインパクトを与えると考え、学生も含めた研修の受け入れを継続している。また、専門の部署が多角的に対応していることも評価できる。

3. 経営形態の見直しについて

経営形態の見直しを求める意見はなかった。

4. 新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組について

建て替えに伴って感染症対応個室 3 床を整備するなど、施設基準以上の対策を行っている。なお、取り組みについては平時からの危機管理体制であり、郡立病院として構成 3 町の行政と連携した対応を求める。

5. 施設・設備の最適化について

令和 6 年 10 月の新本館棟が竣工によってプランに挙げた最適化はできている。また、建て替えに伴ってデジタル化が行われているが費用対効果の検証がなされていないので、グランドオープン後の令和 8 年度からの分析を求める。

6. 経営の効率化について

経営指標にかかる数値はおおむね達成できている。これは、病院原価管理の取組で「全員参加型の経営」を継続していることが要因であり評価できる。しかしながら、過剰な取り組みで職員のストレスや患者が不利益にならないように、医療の質を落とさない対応を期待する。

おわりに

経営強化プラン 6 項目は概ね達成できており、他の自治体病院と比べても高く評価できるところである。

人件費や物価高騰による経常収支の赤字が当面見込まれ、内部留保資金の減少が懸念される。ついては、今後の見通しを提示し、その上で具体的な検討を求める。

健全経営と医療従事者の確保を維持することで、邑智郡唯一の急性期救急医療機関が永続できるよう、引き続き取り組んでいただきたい。

公立邑智病院経営強化プラン評価委員会

委員長 植 田 昌 平

○第1回 公立邑智病院経営強化プラン評価委員会

日時 令和 7年8月25日(月) 13時30分～15時00分
場所 公立邑智病院 本館棟3階 カンファレンス室(大)

○公立邑智病院経営強化プラン評価委員会委員

委員長 植 田 昌 平 (川本町議会 議長)
副委員長 漆 谷 光 夫 (邑南町議会 議長)
委員 藤 井 俊 吾 (島根県県央保健所 所長)
原 克 美 (美郷町議会 議長)
藤 田 喜久雄 (川本町 副町長)
山 根 啓 史 (美郷町 副町長)
白 須 寿 (邑南町 副町長)
山 口 清 次 (公立邑智病院 院長)

○事務局 公立邑智病院

日 高 武 英 (副院長)
三 上 和 彦 (事務部長)
金 山 淳 生 (総務管理課長)
土 井 祐 子 (医事経営課長)
辰 田 翔 平 (医事経営課主任)